



カンタン操作で
すぐにアシスト走行

ホースカーを消防車から降ろしたあとは
ハンドルを起こして電源を入れればすぐに
走行可能となる。



充実の装備と機能



シンプルな「ON」と「OFF」の電源スイッチ。
バッテリー残量が少なくなると、ランプが
緑→黄→赤点滅に変わる。満充電時で
約20kmもしくは約4時間の走行が可能。



充電は家庭用の100Vコンセントで行え
る。消防車に積載した状態でも充電が
できる位置にコード接続部を設けた。



荷室の下にはモーターやメンテナンス性
にすぐれた鉛バッテリーを配置。



溝や段差があっても乗り越しやすいよう、
ホースカーのタイヤは外径512mmと
大径のものを採用。



駐車ブレーキはハンドルの左グリップ部にある。握ってロック(写真左)、
ロック状態で握ればワンタッチでブレーキ解除(写真右)となる。



若手消防職員の
デモ走行体験談！

スピード制御を気にせず
自然に操作できる



現役消防職員A氏

「従来の電動ホースカーは操作を回して出力をコントロ
ールするタイプで、回しすぎると加速しすぎてしまい足の
かかと部分がタイヤに絡まってしまっていた。また、カー
ブする際には握りながらブレーキをかけないといけない
ので操作に慣熟が必要だった。このクロスクイッカーは、
自分が引っ張るスピードに合わせた速さで動いてくれる
ので、足のかかとの巻き込みやカーブ時のスピード制
御を気にせず自分のペースで引っ張れる。扱いやすい
ホースカーだと感じた」

自分の進むスピードで
アシストされる



現役消防職員B氏

「バッテリーやモーターが付いているので、動き出しが
重たいのかなという先入観があったが、すぐにアシスト
がオンになってスムーズに動かせた。自分が前に進む
スピードと同じになるようにアシストが利いてくるので、
加速もなめらかだった。ハンドル部分も単純な構造で
使いやすい」

消防製品を手掛けて38年の
ヤマハモーターエンジニアリングが提案する
“人と一体感のある”ホースカー

スロットル操作不要の
次世代型電動アシストホースカーが

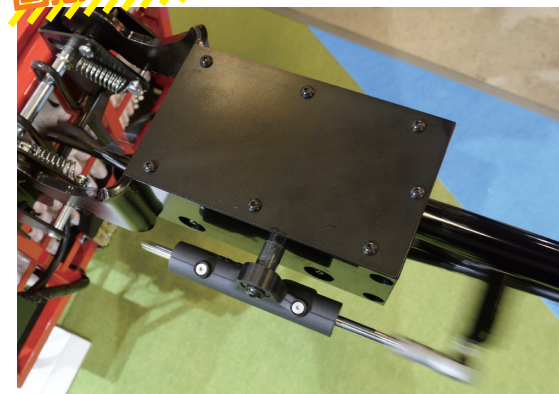
新登場！

X-QUICKER
クロスクイッカー



「東京国際消防防災展2023」
でヤマハモーターエンジニアリング
が展示したのは、令和6年4月に販
売開始の加納式電動アシストホース
カー「X-QUICKER」だ。
この製品の最大の特徴は、ホース
カーを引っ張る状況に合わせて、モ
ーターが最適なアシストを行えるこ
とだ。ハンドルの根元にセンサーが
設置されており、このセンサーがハン
ドルを引く力を検出する。センサ
ーで検出した荷重と速度を総合して
電動アシストする力を自動で決定し
ている。そのため、従来の電動アシ
ストホースカーで必要だった速度調
整の操作を不要とした。
同品は電動アシスト自転車のノウ
ハウを活用し、操作する人とホース
カーが一体感を持てるように開発し
たという。

シンプルな操作を実現した
画期的なアシストシステム



ホースカーを引っ張る力を検出するセンサー部。ホースを搭載する
荷室から延びるハンドル支持部の根元に設置されている。

「開発する上で最も重視したのは、
“人が操作するときの違和感をなく
す”という点でした」(開発を担当し
た向井氏)
同社の試験では、同品のアシスト
有り無しで比較した場合、ホース
カーを斜度3度の坂道で100m
走行させた時に約8車分の差が生
まれたという。電動アシストは、操
作する人の負荷を最大で約80%軽
減できる。走行できる状態にする
までの準備も非常にシンプルだ。搭
載する消防車から降ろしてハンドル
を起こし、電源をオンにすればすぐ
に走行が可能になるという点だ。
現場に到着してから走行までがス
ムーズに行える。
力強さと扱いやすさを備えた、従
来とは異なる新しいホースカーとい
えるだろう。

ヤマハモーターエンジニアリング株式会社
事業企画推進室 事業グループ

TEL : 0538-37-4489

URL : <https://www.yec.co.jp/products/xquicker/>

